

## □主な内容

### 【地域脱炭素フォーラム 2025(高松・名古屋・広島・仙台・新潟)を開催します】

環境省では、「地域脱炭素フォーラム 2025～地域脱炭素 2.0 に向けた官民連携の更なる強化～」を各地域ブロックで開催しており、5 地域における開催が決定いたしました。

[https://www.env.go.jp/press/press\\_00430.html](https://www.env.go.jp/press/press_00430.html)

### 【道内初の共同経営による運行効率化が 10 月より開始！】

北海道運輸局は、8 月 18 日に「北海道オホーツク地域公共交通利便増進実施計画」を認定しました。北見バスと北紋バスの競合を解消して広域交通の最適化を図るとともに、待合環境の向上やバスロケーションシステムの導入等、公共交通のサービス向上を目指します。

[https://www.tb.mlit.go.jp/hokkaido/press/20250818\\_00001.html](https://www.tb.mlit.go.jp/hokkaido/press/20250818_00001.html)

## □目次

### 1. ニュース／トピックス

- 完全キャッシュレスバスの実証運行の実施路線を選定しました！【国土交通省】
- 「交通空白」解消や地域の多様な関係者の「共創」による地域交通の維持・活性化の取組等を支援します！ ～令和7年度「『交通空白』解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト」「『交通空白』解消緊急対策事業」および「共創モデル実証運行事業」(2次公募)の採択事業について～【国土交通省】
- 「交通空白」解消パイロット・プロジェクト第5弾を発表します！【国土交通省】
- 令和7年度「モーダルシフト等推進事業費補助金」の交付決定【国土交通省】
- 自動運転トラックの社会実装及び物流の効率化を推進 ～「自動運転トラックによる幹線輸送の社会実装に向けた実証事業」二次公募～【国土交通省】
- 「地域連携モーダルシフト等促進事業」(補助事業)の三次公募開始 ～地域連携したモーダルシフトや共同輸配送等の先進的取組みを支援します～【国土交通省】
- 地域脱炭素フォーラム 2025(高松・名古屋・広島・仙台・新潟)の開催について【環境省】
- 北見バス・北紋バス重複路線を解消へ ～道内初の共同経営による運行効率化、10 月より開始～【北海道運輸局】
- 「四国まるごと公共交通利用促進キャンペーン 2025」を実施しています！【四国運輸局】
- 将来的なバス路線維持を目指し小樽市初の自動運転 EV バス実証運行を開始！【小樽市、マクニカ】

- 鉄道やバス、飛行機などと組み合わせて使うとお得な佐賀県限定のタクシー割引チケットを発売します!【佐賀県】
- お得なコミバス限定 1 日親子フリーパスを販売します!【甲賀市、RYDE】
- 神戸市内灘五郷エリアにて自動運転に取り組みます【神戸市、日産自動車】
- 名古屋市の公共交通空白地における AI オンデマンド交通の実証運行を開始します【名古屋市】
- 国内初の産官学連携 AI オンデマンドシステム×貨客混載の実証実験を開始 ～持続可能な地域交通・物流モデルを実装する「マイルワンププロジェクト」～【下関市、住友商事、セイノーHD、大新東、REA】
- ～西武線沿線でのくらしやおでかけをより楽しんでいただきたい～ 2026 年 3 月～小児運賃を均一にします【西武鉄道】
- WillSmart と常陽銀行が協業【WillSmart、常陽銀行】
- パーク&ライドが可能なタイムズパーキングレール&カーシェアが可能なタイムズカーステーション 8 月のオープン情報【パーク 24】
- シェア乗りタクシー「のら西伊豆」の運行開始について【静鉄タクシー、伊豆バス、駿河湾フェリー、NearMe】
- 「小型電動モビリティ活用による脱炭素推進・安全講習実践事業」が環境省「デコ活」推進事業に採択されました【JEMPA、瀬田月輪自動車教習所】
- 「小型EVトラック」と「断熱・保冷機能付きの輸送用機材」を活用した医薬品配送の実証実験を開始【アルフレッサ、ヤマト運輸】
- 石油業界 7 社と自動運転トラック向けにカーボンニュートラル燃料の利用拡大協力で合意 ～自動運転トラック分野で初各社の燃料を試験利用へ～【T2、出光興産、伊藤忠エネクス、宇佐美鉱油、三和エナジー、ENEOS、太陽石油】
- 新幹線を活用した荷物輸送サービスの拡充について【JR 東海、JR 西日本】
- ドイツ、連邦内閣が 2025 年気候保護報告書を承認【ドイツ環境省】
- ブラティスラヴァの新しい路面電車路線が環境に優しい移動手段を促進【ブラティスラヴァ市】
- オーストラリアのウィナー・リニエン、水素燃料電池搭載バスを導入【JETRO】
- 商業輸送の排出削減へ技術開発・導入を支援【カナダ天然資源省】
- DECARBOMILE プロジェクトは、配送時の排出量を削減するためにマイクロハブと貨物バイクの計画を試験的に実施しています【ログローニヨ市、Intelligent Parking 社】

## 2. イベント情報

- グリーン経営認証取得講習会【2025/9/4】
- 青森バスまつり【2025/9/7】
- 地域公共交通シンポジウム in 北海道【2025/9/12】
- 第20回日本モビリティ・マネジメント会議(JCOMM)【2025/9/12-13】
- 愛知万博復刻デザイン車両撮影会【2025/9/21】

- 鉄道フェスティバル in 東北【2025/10/5】
- 第 10 回おでかけ交通博 2025 in あいづ【2025/10/10】
- ちばモノレール祭り 2025【2025/10/18】
- 地域脱炭素マッチングイベント【2025/10/24】
- 第 32 回「鉄道の日」記念イベント【2025/10/25】

### 3. その他

- 「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ
- エコ通勤優良事業所を認証登録しています！
- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！
- 電動小型低速車に関する情報を掲載しています！
- 「運輸・交通と環境」を発行しています！
- 記事募集中！

---

## 1. ニュース／トピックス

### ●完全キャッシュレスバスの実証運行の実施路線を選定しました！【国土交通省】

深刻な運転者不足等を背景に、バスネットワークは危機的な状況にあり、国民の生活基盤に深刻な影響を与えています。これらを解消するため、大きな経営改善効果や運転者の負担軽減が見込まれる完全キャッシュレスバスを進めることが効果的です。

バス業界では、これまでの事業者による積極的な投資によって極めて高いキャッシュレス環境が整備されており、現金を取り扱わない完全キャッシュレスバスの環境は整いつつありますが、丁寧に利用者理解の醸成を図る観点から、昨年度に引き続き、実証運行を行うこととしました。

今般、事業者の申請に基づき、実証運行を実施する 27 事業者 43 路線を選定し、8 月 26 日以降、順次運行が開始される予定です。

[https://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha03\\_hh\\_000476.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha03_hh_000476.html)

### ●「交通空白」解消や地域の多様な関係者の「共創」による地域交通の維持・活性化の取組等を支援します！ ～令和7年度「『交通空白』解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト」「『交通空白』解消緊急対策事業」および「共創モデル実証運行事業」（2次公募）の採択事業について～【国土交通省】

国土交通省では、全国の「地域の足」「観光の足」を確保するための「交通空白」の解消に向けた取組を後押しするため、令和 7 年度「『交通空白』解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト」（「交通空白」解消緊急対策事業・共創モデル実証運行事業）の 2 次公募を行い、「『交通空白』解消緊急対策事業」36 件、「共創モデル実証運行事業」13 件の事業を採択いたしました。

[https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo12\\_hh\\_000466.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo12_hh_000466.html)

### ●「交通空白」解消パイロット・プロジェクト第5弾を発表します！【国土交通省】

国土交通省では、「『交通空白』解消・官民連携プラットフォーム」を設置し、官民関係者の幅広い連携をもとに、全国各地において「交通空白」の解消に向けた取組を進めています。この度、同プラットフォームの取組の一つである「『交通空白』解消パイロット・プロジェクト」について、第 5 弾を発表いたします。

[https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo12\\_hh\\_000467.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo12_hh_000467.html)

### ●令和7年度「モーダルシフト等推進事業費補助金」の交付決定【国土交通省】

国土交通省は、物流分野における労働力不足への対応や環境負荷の低減を図るため、物流効率化法に基づく総合効率化計画の策定やモーダルシフト等の取組みを支援する補助事業の募集を行い、計画策定経費補助 8 件、運行経費補助 24 件の交付を決定しました。

[https://www.mlit.go.jp/report/press/tokatsu01\\_hh\\_000808.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/tokatsu01_hh_000808.html)

●自動運転トラックの社会実装及び物流の効率化を推進 ～「自動運転トラックによる幹線輸送の社会実装に向けた実証事業」二次公募～【国土交通省】

国土交通省は、トラックドライバーの担い手不足の解消や物流効率化を進めるため、自動運転トラックを活用した幹線輸送サービスの自動化による物流の効率向上効果を検証し、自動運転物流の社会実装の推進を目的とした実証事業の二次公募を開始しました。公募期間は、8月29日までです。

[https://www.mlit.go.jp/report/press/tokatsu01\\_hh\\_000930.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/tokatsu01_hh_000930.html)

●「地域連携モーダルシフト等促進事業」(補助事業)の三次公募開始 ～地域連携したモーダルシフトや共同輸配送等の先進的取組みを支援します～【国土交通省】

国土交通省は、モーダルシフトや共同輸配送等の強力な推進を図る「地域連携モーダルシフト等促進事業」の三次公募を開始しました。公募期間は9月8日までです。

本事業では、地域の産業振興等を担う地方公共団体や産業団体・経済団体、荷主、物流事業者等によって構成される協議会等が、地域の産業振興等と連携した先進的な取組みを行う際の検討に必要な調査・分析に係る費用や物流の効率化と持続的成長に向けて、モーダルシフト等を強力に促進するための物流拠点の整備や設備・機器の導入、実証運行等に要する経費に補助金を交付します。

[https://www.mlit.go.jp/report/press/tokatsu01\\_hh\\_000921.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/tokatsu01_hh_000921.html)

●地域脱炭素フォーラム2025(高松・名古屋・広島・仙台・新潟)の開催について【環境省】

環境省では、脱炭素先行地域の実施等を通じて加速する地域脱炭素のうねりを更に大きくし、地方創生に資する形で全国に波及させるため、「地域脱炭素フォーラム 2025～地域脱炭素 2.0 に向けた官民連携の更なる強化～」を各地域ブロックで開催することとしています。

本フォーラムは、全国9地域において開催することとしており、このうち4地域では開催済みであり、今般、次の5地域における開催が決定いたしました。

- ・高松開催 2025年10月4日(土)
- ・名古屋開催 2025年10月18日(土)
- ・広島開催 2025年10月22日(水)
- ・仙台開催 2025年10月29日(水)
- ・新潟開催 2025年11月6日(木)

本フォーラムでは、地域脱炭素に精力的に取り組む自治体や事業者、金融機関、学識者等による議論を通じて、「産官学金労言」など多様な主体を巻き込んだ地域脱炭素のムーブメントにつなげることを目指します。

[https://www.env.go.jp/press/press\\_00430.html](https://www.env.go.jp/press/press_00430.html)

●北見バス・北紋バス重複路線を解消へ ～道内初の共同経営による運行効率化、10 月より開始～【北海道運輸局】

北海道運輸局は、8 月 18 日に「北海道オホーツク地域公共交通利便増進実施計画」を認定しました。北見バスと北紋バスの競合を解消して広域交通の最適化を図るとともに、待合環境の向上やバスロケーションシステムの導入等、公共交通のサービス向上を目指します。

同計画の認定により、地域旅客運送サービスの運行費に係る補助要件の緩和や、バス施設等のハード整備に関する交付金の活用など、様々な国の支援を受けることができます。

[https://www.tb.mlit.go.jp/hokkaido/press/20250818\\_00001.html](https://www.tb.mlit.go.jp/hokkaido/press/20250818_00001.html)

●「四国まるごと公共交通利用促進キャンペーン 2025」を実施しています！【四国運輸局】

四国公共交通利用促進協議会（事務局：四国運輸局）では、公共交通への理解を深め、利用を促すことを目的として、2025 年 8 月 1 日（金）から 10 月 31 日（金）までの間、「四国まるごと公共交通利用促進キャンペーン 2025」を実施しています。

本キャンペーンでは、四国 4 県各地で公共交通を身近に感じていただくためのイベント等を実施するほか、四国地域の小学生を対象に公共交通をテーマとした絵画コンクールを開催します。

<https://www.tb.mlit.go.jp/shikoku/newsrelease/2017/2025-0718-1400-3.html>

●将来的なバス路線維持を目指し小樽市初の自動運転 EV バス実証運行を開始！【小樽市、マクニカ】

小樽市と株式会社マクニカは、バスの乗務員不足を背景に、将来的にバス路線を維持していく手段の一つとして自動運転 EV バス導入の可能性を検討するために、実証運行を行います。実証期間は 8 月 18 日から 8 月 31 日までです。

<https://www.macnica.co.jp/public-relations/news/2025/148049/>

●鉄道やバス、飛行機などと組み合わせて使うとお得な佐賀県限定のタクシー割引チケットを発売します！【佐賀県】

佐賀県は、鉄道・バス・飛行機などの公共交通と組み合わせて利用できる、お得なタクシー割引チケットの販売を開始しました。

主な利用条件は以下の通りです。

- ① タクシー乗車の前後に鉄道やバスなど他の公共交通を利用すること
- ② 佐賀県内のタクシーに乗車すること
- ③ タクシー乗車の前後における他公共交通の利用(①)を運転士に口頭で申告すること
- ④ チケットの利用は、1 回の乗車で 1 枚のみ利用可能

<https://saga-moblab.jp/2025/07/17/saga-taxi-ticket/>

●お得なコミバス限定 1 日親子フリーパスを販売します！【甲賀市、RYDE】

甲賀市は、親子(中学生以上1名＋小学生以下1名)で1日乗り放題となるフリー乗車券の販売を開始しています。本乗車券は、スマホ画面上に表示する電子タイプのフリー乗車券であり、RYDE アプリ上でのみ購入できます。

<https://www.city.koka.lg.jp/19232.htm>

●神戸市内灘五郷エリアにて自動運転に取り組みます【神戸市、日産自動車】

神戸市は、日産自動車株式会社と連携し地域社会における自動運転技術を活用したモビリティサービスの社会実装を目的とした実証実験を2026年1月より開始することを発表しました。

本実証実験は、神戸市灘五郷エリアを中心に、現行「日産リーフ」をベースとした自動運転車両の運用を行うものです。

<https://www.city.kobe.lg.jp/a80014/jidounten.html>

●名古屋市公共交通空白地における AI オンデマンド交通の実証運行を開始します【名古屋市】

名古屋市では、昨年度の実証実験に引き続き、名古屋市港区の西福田学区を中心としたエリアでの AI オンデマンド交通「D バス」の実証運行を開始しました。

本実証実験では、公共交通空白地を含む港区西福田学区において、2024 年度の実証実験を踏まえた新たな利用促進策等の実施により、当該学区のデマンド交通の利用需要を調査します。

<https://www.city.nagoya.jp/jutakutoshi/page/0000188499.html>

●国内初の産官学連携 AI オンデマンドシステム×貨客混載の実証実験を開始 ～持続可能な地域交通・物流モデルを実装する「マイルワンプロジェクト」～【下関市、住友商事、セイノーHD、大新東、REA】

下関市、住友商事株式会社、セイノーHD 株式会社、大新東株式会社、株式会社 REA は、国土交通省による「共創モデル実証運行事業」の採択を受け、下関市豊田町で、産官学連携の取り組みとしては国内初となる AI オンデマンドシステムと貨客混載を組み合わせた地域モビリティサービス「MileOne」の実証実験を10月1日から開始します。

<https://www.sumitomocorp.com/ja/jp/news/topics/2025/group/20250812>

●～西武線沿線でのくらしやおでかけをより楽しんでいただきたい～ 2026 年 3 月～小児運賃を均一にします【西武鉄道】

西武鉄道株式会社の運賃改定にあわせ、小児均一運賃を導入すべく、実施運賃の変更の届出を行いました。

西武線沿線にお住まいのお子さまとご家族に、今まで以上に日々のくらしやおでかけを楽しんでいただきたいという思いから、小児 IC 運賃、小児通学定期運賃、小児通勤定期運



賃を西武線内の全区間において均一にし、小児 IC 運賃は1乗車 50 円、小児通学定期は一律 500 円(1 ヶ月)、小児通勤定期は一律 1,000 円(1 ヶ月)とします。さらに、小児 IC カード限定で 1 ヶ月 1,000 円で西武線が乗り放題となる小児全線フリー定期券を新たに導入します。西武線全線の乗り降りがフリーとなることで、通学だけでなく、習い事や休日のレジャーなどにおいて電車利用がしやすくなります。小児通勤定期における均一運賃導入、ならびに小児 IC カード限定の全線フリー定期券の導入は、大手民鉄初の事例です。

[https://www.seiburailway.jp/newsroom/news/20250723\\_shouniunchin/](https://www.seiburailway.jp/newsroom/news/20250723_shouniunchin/)

●Will Smart と常陽銀行が協業【Will Smart、常陽銀行】

株式会社 Will Smart は、株式会社常陽銀行と 7 月 23 日付で協業に関する基本合意書を締結しました。

本協業では、デジタルを活用した持続可能な事業モデルの検討を通じ、交通空白の解消、地域交通の最適化により、茨城県の地域活性化に取り組みます。

<https://willsmart.co.jp/news/20250808/>

●パーク＆ライドが可能なタイムズパーキングレール&カーシェアが可能なタイムズカーステーション 8 月のオープン情報【パーク 24】

パーク 24 株式会社は、温室効果ガスの排出量削減に繋がる移動法「パーク＆ライド」および「レール&カーシェア」が可能なタイムズパーキングおよびタイムズカーステーションの 2025 年 8 月におけるオープン予定を公開しました。

8 月にオープンおよびオープン予定の「パーク＆ライド」に適した駐車場は 28 件、「レール&カーシェア」に適したステーションは 198 件です。

<https://www.times24.co.jp/news/2025/08/20250807-1.html>

●シェア乗りタクシー「のるら西伊豆」の運行開始について【静鉄タクシー、伊豆バス、駿河湾フェリー、NearMe】

静鉄タクシー株式会社、(一社)ふじさん駿河湾フェリー、株式会社伊豆バス、株式会社 Nearme は、シェア乗りタクシー「のるら西伊豆」の実証実験を開始しました。実証期間は 2026 年 1 月までです。

<https://www.223-ferry.or.jp/news/share-taxi.html>

●「小型電動モビリティ活用による脱炭素推進・安全講習実践事業」が環境省「デコ活」推進事業に採択されました【JEMPA、瀬田月輪自動車教習所】

一般社団法人日本電動モビリティ推進協会(JEMPA)は、株式会社瀬田月輪自動車教習所と共同で行う「小型電動モビリティ活用による脱炭素推進・安全講習実践事業」が、環境省の「環境配慮行動普及促進事業費補助金」および「二酸化炭素排出抑制対策事業



費等補助金」(通称:「デコ活(脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動)」推進事業)に採択されたことをお知らせいたします。

<https://jempa.org/archives/1267>

●「小型 EV トラック」と「断熱・保冷機能付きの輸送用機材」を活用した医薬品配送の実証実験を開始【アルフレッサ、ヤマト運輸】

アルフレッサ株式会社とヤマト運輸株式会社は、近年の異常気象による猛暑下でも医薬品を安全かつ確実に配送するため、「小型 EV トラック」と「断熱・保冷機能付きの輸送用機材」を活用した医薬品配送の実証実験を開始します。

<https://www.alfresa.co.jp/news/pr/post-000352/>

●石油業界 7 社と自動運転トラック向けにカーボンニュートラル燃料の利用拡大協力で合意～自動運転トラック分野で初各社の燃料を試験利用へ～【T2、出光興産、伊藤忠エネクス、宇佐美鉱油、三和エナジー、ENEOS、太陽石油】

株式会社 T2 は、出光興産株式会社、伊藤忠エネクス株式会社、株式会社宇佐美鉱油、三和エナジー株式会社、ENEOS 株式会社、株式会社 ENEOS ウイングおよび太陽石油株式会社の石油業界 7 社と、トラックドライバー不足を背景に今後普及が見込まれる自動運転トラック向けに、CO<sub>2</sub>排出量の削減に貢献する「カーボンニュートラル燃料」の利用を拡大すべく、燃料の試験利用を通じた給油オペレーションの改善活動など、相互に協力していくことで合意しました。

<https://t2.auto/news/2025/0807.pdf>

●新幹線を活用した荷物輸送サービスの拡充について【JR 東海、JR 西日本】

東海旅客鉄道株式会社と西日本旅客鉄道株式会社は、それぞれが提供している法人向け荷物輸送サービスのさらなる利便性向上を目指し、新たに直通列車を活用したサービスを 8 月 18 日から開始します。また、東海道新幹線区間では、「当日申込・当日お届け」を実現した緊急輸送サービス「東海道超マッハ便」も 9 月 1 日から開始します。

[https://jr-central.co.jp/news/release/\\_pdf/000044453.pdf](https://jr-central.co.jp/news/release/_pdf/000044453.pdf)

●ドイツ、連邦内閣が 2025 年気候保護報告書を承認【ドイツ環境省】

ドイツ連邦内閣は、気候保護法第 10 条に基づき作成された 2025 年気候保護報告書を承認し、ドイツ連邦議会に提出した。報告書は、温室効果ガス排出に関する最新の動向、ドイツ国内における気候保護対策や気候保護プログラムの概要を示したもので、気候保護における社会的側面の重要性を強調している。

ドイツ連邦政府は、気候保護法(§ 9 第 2 項)に基づき、今年末までに新たな気候保護プログラムを策定し、提出する。プログラムでは、建築部門および運輸部門における追加策を

明確にし、社会的補償メカニズムをさらに開発し、そして環境・気候に配慮した技術革新を促進するための投資支援の枠組みの見直しが行われる。

<https://www.bundesumweltministerium.de/pressemitteilung/klimaschutzbericht-2023-fortschritte-bei-emissionsminderung-weitere-massnahmen-notwendig-um-klimaziele-zu-erreichen>

●ブラティスラヴァの新しい路面電車路線が環境に優しい移動手段を促進【ブラティスラヴァ市】

スロバキアのブラティスラヴァ市は、7月27日に市内のペトルジャルカ地区を通る路面電車延伸区間の開通を発表しました。この延伸区間は、ペトルジャルカ最大の住宅街と市内中心部を結び、市の公共交通網の大幅な改善が期待されます。また、同時に歩道の植栽や、6kmの分離型サイクリングロードも整備され、交通全体の質を大きく向上させるプロジェクトとなっています。

<https://bratislava.sk/spravy/start-petrzalskej-elektricky>

●オーストラリアのウィーナー・リニエン、水素燃料電池搭載バスを導入【JETRO】

オーストリア・ウィーン市の公共交通機関の運営機関ウィーナー・リニエンは9月から市中心部(第1区)を走るバス路線2Aと3Aで、新型の水素燃料電池搭載バスの運行を開始する予定だ。7月17日に同機関が発表した。イタリアのランピーニ製の水素燃料電池バスは、走行中に電気エネルギーを作ることによって航続距離を延ばす「レンジエクステンダー技術」により、従来の電動バスと異なって、日中の充電が不要だ。そのため、これまで同路線で運行していた電動バス12台に対し、走行台数を10台に削減しても、運行が可能となる。

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2025/07/643156efa2a44ee4.html>

●商業輸送の排出削減へ技術開発・導入を支援【カナダ天然資源省】

カナダ政府は、商用輸送からの温室効果ガス(GHG)排出削減を目指す9つの研究・開発・実証プロジェクトに対し、「エネルギーイノベーションプログラム」を通じて総額2,100万ドル超を拠出すると発表しました。対象プロジェクトでは、最先端技術を用いたシステム効率の向上により企業のコスト削減と温室効果ガス排出の削減を目指し、ゼロエミッション車への移行を容易にするとともに、中型から大型の低排出・ゼロ排出車両における技術的・市場的障壁の解消を図ります。

<https://www.canada.ca/en/natural-resources-canada/news/2025/07/canada-drives-innovative-technology-to-reduce-emissions-from-commercial-transportation-fleets.html>

●DECARBOMILE プロジェクトは、配送時の排出量を削減するためにマイクロハブと貨物バイクの計画を試験的に実施しています【ログローニョ市、Intelligent Parking 社】

スペインのログローニョ市は、DECARBOMILE Horizon Europe プロジェクトの一環として、ラストマイル配送における排出量削減を目指し、Intelligent Parking 社と連携して6月に同市初の都市型貨物マイクロハブと、一般市民が利用可能な市営カーゴバイクサービスを試験的に開始しました。

<https://decarbomile.eu/decarbomile-in-action-how-logrono-is-decarbonizing-urban-logistics/>

---

## 2. イベント情報

### ●グリーン経営認証取得講習会

日時:2025 年 9 月 4 日(木)13:30～15:30(受付:13:00)

場所:石川県トラック会館第1研修室

主催:国土交通省北陸信越運輸局、エコモ財団

<https://www.tb.mlit.go.jp/hokushin/content/000354178.pdf>

### ●青森バスまつり

日時:2025 年 9 月 7 日(日)10:00～14:00

場所:青森運輸支局構内(自動車点検ふれあいフェスティバル会場内)

主催:青森県バス協会

[https://www.aomoribus.or.jp/bus\\_festival2025.html](https://www.aomoribus.or.jp/bus_festival2025.html)

### ●地域公共交通シンポジウム in 北海道

日時:2025 年 9 月 12 日(金)10:00～12:00

場所:札幌コンベンションセンター(後日、録画を配信予定)

主催:国土交通省北海道運輸局

[https://www.tb.mlit.go.jp/hokkaido/press/20250819\\_00001.html](https://www.tb.mlit.go.jp/hokkaido/press/20250819_00001.html)

### ●第20回日本モビリティ・マネジメント会議(JCOMM)

日時:2025 年 9 月 12 日(金)～13 日(土)

場所:札幌コンベンションセンター

主催:(一社)日本モビリティ・マネジメント会議

<https://www.jcomm.or.jp/convention/>

### ●愛知万博復刻デザイン車両撮影会

日時:2025 年 9 月 21 日(日)※雨天決行(荒天の場合は中止)

午前の部:9:30 頃～12:00 頃

午後の部:14:30 頃～17:00 分頃

場所:北野榊塚駅改札口付近

主催:愛知環状鉄道株式会社

[https://www.aikanrailway.co.jp/information/info\\_data\\_7\\_97.html](https://www.aikanrailway.co.jp/information/info_data_7_97.html)

### ●鉄道フェスティバル in 東北

日時:2025 年 10 月 5 日(日)10:00～15:00

場所:JR 貨物 仙台貨物ターミナル駅(旧宮城野駅)構内

主催：東北地区「鉄道の日」実行委員会

<https://www.tb.mlit.go.jp/tohoku/content/000350871.pdf>

●第10回おでかけ交通博 2025 in あいづ

日時：2025年10月10日(金)10:30～17:20

場所：会津若松ワシントンホテル 双鶴、飛翔

主催：国土交通省東北運輸局

<https://www.tb.mlit.go.jp/tohoku/ks/newpage/ks-odekake-kaisai.html>

●ちばモノレール祭り 2025

日時：2025年10月18日(土)10:00～15:00

場所：千葉都市モノレール車両基地

主催：ちばモノレール祭り実行委員会

<https://chiba-monorail.co.jp/index.php/2025matsuri-kaisai/>

●地域脱炭素マッチングイベント

日時：2025年10月24日(金)10:00～17:00

場所：ベルサール東京日本橋

主催：環境省

[https://www.env.go.jp/press/press\\_05008.html](https://www.env.go.jp/press/press_05008.html)

●第32回「鉄道の日」記念イベント

日時：2025年10月25日(土)10:00～15:00

場所：新潟駅南口広場

主催：第32回「鉄道の日」北陸信越地方実行委員会

<https://www.tb.mlit.go.jp/hokushin/content/000354158.pdf>

---

### 3. その他

- 「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ

<http://www.green-m.jp>

- エコ通勤優良事業所を認証登録しています！

[https://www.ecomo.or.jp/environment/ecommuters/ecommuters\\_top.html](https://www.ecomo.or.jp/environment/ecommuters/ecommuters_top.html)

- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！

配信申込はこちらから

<https://mm-education.jp/mailmagazine.html>

- グリーンスローモビリティに関する情報を掲載しています！

[https://www.ecomo.or.jp/environment/gsm/gsm\\_top.html](https://www.ecomo.or.jp/environment/gsm/gsm_top.html)

- 「運輸・交通と環境」を発行しています！

(日本語版)

<https://www.ecomo.or.jp/environment/unyukotsutokankyou/index.html>

(英語版)

<https://www.ecomo.or.jp/english/tej.html>

- 記事募集中！

本メールマガジンへの掲載記事を募集中です。

EST、または「交通と環境」に関連する取組みや話題、催し物の案内等を事務局までお寄せください。 → E-mail: [magazine@ecommo.or.jp](mailto:magazine@ecommo.or.jp)(担当: 中道)

---

発行: 環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会事務局

(公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団)

配信申込、バックナンバー閲覧はこちらから

<https://www.estfukyu.jp/mailmagazine.html>

配信停止はこちらから

[https://p.bmb.jp/bm/p/f/tf.php?id=mail\\_ecomo](https://p.bmb.jp/bm/p/f/tf.php?id=mail_ecomo)

EST ポータルサイト: <https://www.estfukyu.jp/>